

特集—平成8年度予算

21世紀をめざした

「市民が誇れるまちづくり」を

選挙を前に骨格的な予算



平成8年度の長門市の予算が3月定例会で決まりました。

厳しい財政事情のなか、また5月が市長改選期となるため、骨格予算となっています。

つまり、義務的経費・継続事業・当初での予算措置を必要とする事業・市民生活に影響する事業について計上し、施策的な新規事業については極力押さえた予算になっています。

編成方針は、「第三次長門市総合計画」に基づき『市民が誇れるまちづくり』を主題目標に、

- ① 快適環境のまちづくり
- ② 健康と福祉のまちづくり
- ③ 四季を楽しめる憩いのあるまちづくり
- ④ 文化の創造と人材育成のまちづくり
- ⑤ 地場産業を発展させ活力あるまちづくり
- ⑥ 土地利用基本構想
- ⑦ 市民とともに進めるまちづくり

7つの柱からなっています。

一般会計予算は102億9、500万円で、前年度当初予算に比べ0.05%の微増、特別会計は65億7、172万円で、昨年度に比べ7.9%の増となりました。

選挙後の6月市議会において、施策的な新規事業を盛り込んだ補正予算が組まれることとなります。

今月号はみなさんに主な事業等についてお知らせします。

